

## 11 月 25 日 : ポジティブなシグナルで 1,000 ポイント回復の可能性も

VN 指数は先週、大きな値幅で変動し、相場は拮抗した。専門家は、1,000 ポイントを回復するためのポジティブなシグナルも見えたと話した。

25 日(金)、ホーチミン取引所では、VN 指数は 23.75 ポイント上昇し、971.46 ポイント (+2.51%) で引けた。ハノイ取引所の HNX 指数は 5.55 ポイント上昇し、196.77 ポイント (+2.9%) で引けた。

しかしながら、週間では VN 指数は 0.22% の上昇に留まり、対して HNX 指数は 3% 超上昇した。週初の 3 日間は続落したが、週末にかけて反発した。

銀行、不動産、証券などの大型株が VN 指数の反発に貢献した。週末にかけての反発で投資家のマインドも好転した。

流動性は前週から 13.7% 減少し、3 取引所の平均売買代金は 1 日当たり 11.45 兆ドン (4 億 6,240 万ドル) だった。

外国人投資家は引き続き強気で、市場の弱気トレンドを吸収し、ホーチミン市場で 1.6 兆ドンを買越したが、前週に比べて 67.9% 減少した。外国人の買越しは 3 週連続となった。

サイゴン・ハノイ証券では、市場は徐々に安定し、相場の下落局面では買いが入り反転し、小さいレンジで変動するというポジティブなシグナルが見られている。短期的に長期の下落トレンドが反転し、積極的に買いが積み上がる局面に移行しそうだと見ている。

同時に、海外市場では、FRB が金利上昇ペースを減速させる方向がわかり、米ドル指数も 105-106 ポイントのレンジに達したことで、国内の為替レートも安定してきている。

一方で、国内ではベトコムバンクが顧客への貸出金利を 1% まで引き下げることを発表した。政府は、貸出規制の緩和や、社債発行に関する法令 65 条の改正など、不動産・社債市場を支援する方策を模索している。

しかし、市場は依然として下落トレンドで、相場が安定し上昇トレンドに移行する前には大きな下落と反発局面がありそうだと見ている。よって、同社では、現時点で投資家は上昇局面に追随して大量に買うようなことは避けるべきと助言している。

長期的なポートフォリオとしては、市場はポジティブな回復を示すシグナルを発し始めたので、投資家は忍耐強く現在の株式比率を継続するべきだとしている。新しい銘柄を買うのであれば、ファンダメンタルが良好で、成長のポテンシャルがあり、業界の大手で市場を上回る回復が期待される銘柄を選択するべきであるとしている。

同様に、VCB証券では、相場が急上昇する局面での買いは制限し、ポートフォリオの株式組み入れは30%程度とすることで、市場が下落圧力にさらされる局面になってもリスクを管理できるとしている。

テクニカル面では、VCB証券は970-980ポイントは短期的に強い抵抗ラインと見ている。積極的な買付資金の流入が継続すれば、指数も抵抗線を突き抜け、1,000-1,020ポイントを目指す可能性もあるとしている。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。